

CHUOH TRY+ANGLE

知っ得通信

2015年9月18日発行 編集・発行：中央教育研究所(株) 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-6 <http://www.chuoh-kyouiku.co.jp/>



中土井鉄信の「地域一番の繁盛塾になるための最強法則」 vol.43

＜保護者面談の達人になろう！＞

皆さん、夏期講習お疲れ様でした。素晴らしい夏期講習になりましたか？参加した生徒全員にとって素晴らしい講習になればよいのですが、現実には、そうは間屋が卸さないものです。そこで、9月中は、そういう生徒のフォローをしっかり行う時期になります。

生徒面談然り、補習然り、保護者に対してDTS(デイリー・テレフォン・サービス)然り、保護者面談然りです。

ということで、今回は、皆さんに保護者面談の達人になってもらおうと、面談に対する私の考え方を書きたいと思います。

古い話で恐縮ですが、私が、学習塾に勤務していた時のことです。今から20数年前、私は、約1ヶ月で300人の保護者と面談をするのですが、その面談をしている最中に、面談の本当の目的を発見しました。

それは、面談を通して、「保護者の方に私を信頼してもらおう」ということです。保護者からの信頼を勝ち取れば、それだけで子どもの指導を任せてもらえるのです。「先生の思うようにしてください！」とか「先生にお任せします」とか、そう保護者の方に言われれば、後の指導は楽でした。

私たちは、往々にして目的と手段を混同しがちです。子どもの学習状況や学校での様子を伝えるのが、保護者面談の目的だと思っているのではないのでしょうか。実は違うのです。それは、手段に過ぎません。

子どもの学習状況や学校での様子を伝えることを通して、教師である自分の信頼を保護者から勝ち取ることが目的なのです。そういう目的意識を持って、保護者面談に臨むことです。また、そのためには、面談の構造も意識しなければなりません。

I. 面談の構造を理解する

面談が終わった後、保護者がどうなっていれば、面談は、成功だと思いますか？

私は、研修などで、以下のようにお伝えしています。「面談が終わった時に、保護者の皆さんが元気になって教室から出て行くこと。そのためには、保護者が、自分の子どもに対して希望が持てるような面談内容にすること」だと。

私たちが考える面談は、子どもに対する保護者のやる気を引き出し、塾に対する信頼を勝ち得るための処方箋(子どもの課題に対する解決策)を与える場だということです。

それでは、どういう面談をすれば、保護者が満足して帰ってくれるようになるのでしょうか。

それには、面談の構造を理解することです。面談の構造とは、次のようなものです。

面談は、子どもの話題を材料にして、保護者から教師としての信頼を勝ち取るコミュニケーション機会です。

まずは、①お互いがラポール形成しやすいように、明るい挨拶からスタートし、②子どもに対するプラスの情報交換をし、お互いの気持ちを明るくします。この時に、保護者の知らない子どもの良い点は必ず伝えてください。その次に③子どもの課題や問題について取り上げて、シビアな話をします(マイナスの情報交換)。この時に、④保護者の子どもに対する不満や塾や学校に対する不満を聞いて、保護者の不満のガス抜きをします。そして⑤子どもの課題や問題点を解決する策を提案して、課題や問題が解決できることを示します。そして最後は、⑥その解決策を実行していけば、子どもが、今よりは素晴らしい存在になっていくことを示します(展望)。

もう一度、面談の構造を整理しておきましょう。

- ①アイスブレイク
- ②プラスの情報交換
- ③マイナスの情報交換
- ④不満の聞き出し
- ⑤解決策の提案
- ⑥展望を示す

いかがでしょうか。この構造にそって、面談を組み立ててみてください。そうすれば、面談で保護者から信頼を勝ち取ることができるようになるはずです。そうなれば、冬期講習の提案もうまく進むはずです。

ぜひ、面談上手になっていただき、困った時の相談場所として貴塾が地域のコミュニティの中心になってください。

【編集後記】

弊社MBAでは、「教務力アップで集客力倍増計画」というテーマで10月4日(東京)、10月25日(大阪)、11月1日(福岡)に、セミナーを開催致します。中央教育研究所様のご紹介でしたら、昼食付きで丸一日7,560円でご参加いただけます。

<http://www.management-brain.com/2015/keieisassin2>で、詳細をご確認ください。

また、大阪にて、塾経験の少ない塾人に、塾の仕事の本質とスキルをお伝えする「塾人プロ養成セミナー」全3回、塾人のコミュニケーションを高め生徒、保護者からの信頼を獲得するためのアドラー心理学をベースとした「生徒・保護者対応セミナー」全2回をそれぞれ10月から開催致します。

「塾人プロ養成セミナー」詳細は

<http://www.management-brain.com/2015/pro>で、

「生徒・保護者対応セミナー」詳細は

<http://www.management-brain.com/2015/seitohogoyosa>で
ご確認ください。

弊社セミナーのお問い合わせ、お申込、お待ちしております。

数字でみる学習塾経営・業界のトレンド Vol.7-1

8月末に文科省から、この4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が発表されました。

この調査は大きく「学力調査」と「質問紙調査」の2つに分かれていまして、後者では子どもたちに、たとえば「日々の生活習慣」とか「学習に対する意欲・関心・態度」を尋ねる興味深い質問が行われています。

その中に「通塾の状況」を尋ねる設問もありますので、今回はそれを紹介することにしましょう。

まずは設問そのものについて。

設問は正確には「学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか」という問いに対して、「学習塾に通っていない」「学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している(2)」「学校の勉強でよく分からなかった内容を勉強している(3)」「2,3の両方の内容を勉強している」「2,3の内容のどちらともいえない」の5つの選択肢から1つを答えることになっています。

そこで、ここでは「通っていない」を除く4つの選択肢を選んだ子どもと「その他(選択肢以外の回答や複数回答されたもの)」の回答をした子どもとを「通塾者」とみなして、通塾率を算出することにします。

(1) 全国の通塾率

この4月時点の全国の小6生の通塾率は、国公私立すべてを含めた場合が47.6%、国立が78.5%、公立が47.2%、私立が75.6%でした。

全国の中3生の通塾率は、国公私立すべてを含めた場合が60.7%、国立が81.7%、公立が61.0%、私立が46.0%でした。

ちなみに、国公私立すべてを含めた小6生の通塾率は、2007年45.0%、08年48.5%、09年47.7%、10年47.7%、12年47.8%、13年49.7%、14年48.2%でしたから、昨年よりも0.6ポイント低下しています。

また、中3生の通塾率は07年59.2%、08年63.3%、09年62.7%、10年61.9%、12年62.5%、13年60.0%、14

年60.0%でしたから、こちらは昨年より0.7ポイント上がっています(小中とも11年調査は東日本大震災のため中止)。

(2) 都道府県別通塾率(公立小中のみ)

次ページに、都道府県別の通塾率を挙げておきます。左が小6生、右が中3生です。

(3) 通塾率と学力との相関

都道府県別通塾率の上位5都県は、小学校の場合、東京、神奈川、兵庫、奈良、和歌山の順、下位5県は秋田、岩手、青森、山形、宮崎の順でした。

また、中学校の場合、上位5府県は、神奈川、奈良、和歌山、兵庫、大阪の順、下位5県は秋田、岩手、青森、山形、宮崎の順でした。

ところで、今年の学力上位の県は、上から小学校が秋田、石川、福井、青森、富山でした。中学校が福井、秋田、石川、富山、岐阜でした。

一方、都道府県別通塾率を見ると、秋田は小中学校ともに47位、石川は小学校33位、中学校41位、福井は小学校35位、中学校31位、富山は小学校34位、中学校32位。いずれも全国平均よりも低くなっています。

塾に携わる身としては、通塾率が高ければ高いほど学力も高いのを期待したいところですが、現実はそうなっていません。

正直に申し上げると、どうしてそういうことになるのかよくわかりません。

もう少し精査したうえで時を改めて、わたしなりの見解を申し上げたいと思います。

都道府県別通塾率(公立小中のみ)

	小6	中3
北海道	39.2	51.3
青森県	29.5	33.1
岩手県	27.9	32.2
宮城県	37.5	54.5
秋田県	22.8	30.0
山形県	30.4	33.1
福島県	36.1	49.0
茨城県	42.6	58.1
栃木県	44.4	56.8
群馬県	46.6	59.7
埼玉県	47.2	67.3
千葉県	51.8	66.9
東京都	57.6	68.8
神奈川県	56.8	74.1
新潟県	36.8	50.4
富山県	38.4	50.6
石川県	39.0	45.4
福井県	37.9	51.0
山梨県	42.4	58.3
長野県	40.2	49.6
岐阜県	49.0	66.9
静岡県	48.7	65.1
愛知県	51.9	65.1
三重県	52.0	67.7
滋賀県	50.0	63.0
京都府	51.0	64.9
大阪府	52.0	70.2
兵庫県	55.8	70.6
奈良県	55.0	73.1
和歌山県	53.8	70.9

	小6	中3
鳥取県	37.6	51.9
島根県	35.7	41.3
岡山県	48.1	61.7
広島県	47.7	60.4
山口県	44.5	59.9
徳島県	50.2	64.7
香川県	46.2	65.6
愛媛県	46.2	58.2
高知県	46.0	47.7
福岡県	41.3	57.6
佐賀県	39.4	50.5
長崎県	39.4	50.1
熊本県	36.2	52.6
大分県	41.7	50.0
宮崎県	35.1	40.1
鹿児島県	35.5	46.3
沖縄県	40.6	51.5

※数値は%